

24・S1

国語

注意事項

1. 「開始」の合図があるまで、問題を開いてはいけません。
2. 問題は 16 ページ、解答用紙が 2 枚あります。
3. テストの内容に関する質問は一切できません。
4. 気分が悪くなったとき、筆記用具を床に落としたときなどは、手を挙げて監督者に合図して下さい。
5. 「終了」の合図があったら、すぐに筆記用具を置いて、監督者の指示に従ってください。

受験番号	
------	--

一、1158のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。(送りがなも書くこと)

- 1 駅伝の記録が二十年ぶりにこうしんされた。
- 2 ここでは動物のほかくが禁じられている。
- 3 ボールのだんりよくを活かして攻撃する。
- 4 紛争にしようてんを当てて論じる。
- 5 技術のすいを集めたロケットが作られた。
- 6 登校してから忘れ物に気づいてあわてる。
- 7 部活動の先輩に全幅の信頼を寄せる。
- 8 人権を擁護する活動に一生を捧げる。

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

ぼくらの心と身体は公平さというバランスを希求している。他者とのあいだに大きな偏りを察知すると、人はそれを是正しようとする。

では、公平さのバランスを取り戻すには、どんな手段があるのか？ ひとつは、偏りそのものを否定したり、覆い隠したり、見て見ぬふりをする事。もともと偏りがなかったことにしてしまえば、擬似的にバランスを回復できる。これは、ぼくらがもつとも頻繁にやっていることかもしれない。

偏りには、その偏りができる正当な理由がある。収入や境遇の格差は、能力に差があるからだ。努力した結果なのだから、格差が生じて仕方がない。世界には苦しんでいる人もいるが、それはその国の責任だ。日本人は日本の問題だけを考えればよい。① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚

東日本大震災のあと、被災地に向けて大量の支援物資が届けられた。それは、ある種の公平さの回復を目指した行為だったと思う。でも、ぼくらが目にしたのは、被災地の実情に合わず、倉庫に大量に保管されたままの物資であり、刻々と変化する現地のニーズに対応する難しさだった。

④避難所の近くに簡易コンビニが開設されると、被災者の方が喜んで買い物をしていた。そばに無料の支援物資がたくさんあるのに、なぜ自分でお金を払う商品が求められるのか。

贈り物を受けとることに選択の余地はない。与えられたモノは、受けとらなければならない。それはモースが言ったように、ある種の「義務」だ。

しかし市場では、誰もが自分の必要に応じて意志決定し、欲求を充足できる。それぞれが限られた資金のなかで必要性の高いものを選択する。お金が有限だからこそ、人は自分の責任で冷静に必要な優先順位を考えられる。贈与のように人間関係にわずらわされることもない。

市場での交換は、個々の微細なニーズの差異や⑤多様性に対応できる。贈与は、人と人をつなぐ心温まる行為だが、けっして万能ではない。市場での交換も、もとからある資金（交換財）の偏りは解消できない。その「最適値」は、すでにある偏りを⑥度外視することで達成される。

再分配はどうか。⑦再分配は、税などでいったん多くの人から徴収した財を特定の人や事業に振り分けることだ。非市場的な財の移譲という意味では贈与に近いが、おもに国の政策を実施するために利用される。

贈与と違うのは、お金の出所が匿名化され、覆い隠されること。個人からの義援金や支援物資といった「贈り物」は、受けとった人に少なからず贈り手のことを想起させる。だから、たぶんちよつと重い。

公共事業の功績者に政治家の名前はあげられても、納税者の名前が出されることはない。国にとって再分配が重要なのは、それが国民の負担を国家や政治家の功績に変える仕組みだから。その恩恵を受けた人は、国への恩を感じたとしても、税を払った市民に感謝することはない。

3

2

1

同じく納税者の側も、自分が資金の提供者であるという意識を失う。再分配の失敗は、政府の責任であって、自分の責任ではない。交換が人の関係を解消し、贈与が人と人をつなげるとしたら、再分配では本来あるべきつながりが途中で切れている。公平さを実現するための手段にはさまざまな限界がある。では、どうすべきなのか。

4

公平さというバランスを取り戻すために、ぼくらは現実についての認識をずらしたり、物や財を動かしたりすることで対応している。モノを動かす動かし方には市場での交換、社会のなかでの贈与、そして国家による再分配があった。

それぞれに一長一短があつて、万能な方法があるわけではない。それらを組み合わせながら公平さを目指すしかないし、現にそうやっている。

具体的なケースで考えてみよう。電車でお年寄りが立っていて、若者が座っていることがある。はたして①電車内での「公平さ」はどう確保できるのか？

国家が政策でやるとしたら、優先パスを発行するかもしれない。高齢者や妊婦、障がい者、長距離を移動する人など、座る必要性が高い人にはパスを発行し、そのパスをもっている人が優先的に座れるようにする。でもこれを実現するには、それぞれの必要性を審査したり、違反者を監視する仕組みをつくったり、膨大な手間やコストがかかる。そもそも妊婦と高齢者のどちらを優先すべきかなんて、一概には決められない。荒唐無稽な例だと思われるかもしれないけど、生活保護や介護保険などの制度は、このような仕組みで成り立っている。

市場なら、どうするか。市場の原則に従えば、席に座りたい人は高い料金設定のチケットを買う仕組みをつくるだろう。これはすでに導入されている。新幹線の指定席のように、必要性の高さを国などの機関が決めるのではなく、どれだけ高い料金を払えるか、個々のニーズに応じた判断にゆだねるやり方だ。どうしても座りたい人は高い料金でも払うだろうし、我慢できる人は安い料金で立つことを選ぶはずだ。このやり方だとあまりコストはかからない。ただ、「公平さ」を確保するのは、やはり困難だ。お金持ちなら、

若くて元気でも高いチケットを買うだろうし、身体が不自由でも、お金に困っていれば、安いチケットで我慢するはずだ。それが果たして公平なのか。

結局、国や市場の仕組みには限界がある。相手の様子やその場の状況に応じて、自発的に席を譲り合うという個人のコミュニケーション・レベルでの対処が、どうしても必要になる。目をつぶって気づかないふりをする人もいるし、正直者が損をするかもしれない。でも、若者が優先席に座って目の前にお年寄りが立っていれば、少なくとも周囲の人に「図々しいよな」とか、「恥ずかしいな」といった「共感」のスイッチが入る。電車が揺れるたびにそのお年寄りがふらふらでもしていたら、気づかないふりをしていた人のあいだにも「うしろめたさ」が生じるだろう。

電車のなかはお互いの様子が見えるので、どちらかといえば共感が生じやすい空間だ。病気にしても、貧困にしても、世の中には表に出ない不均衡があふれている。ある程度までは国が制度をつくって対応しないとイケない。A、制度が整えば整うほど、国がやるべきことだとか、うまくいかないのは制度の不備だとか、個人が責任を回避する口実も増える。「制度」に頼りすぎるのもよくない。国や市場のやることには、かならず抜け落ちる部分があるのだから。

B、どうしたらいいの？

C、知らないうちに目を背け、いろんな理由をつけて不均衡を正当化していることに自覚的になること。

D、ぼくらのな

かの「うしろめたさ」を起動しやすい状態にすること。人との格差に対してわきあがる「うしろめたさ」という自責の感情は、公平さを取り戻す動きを活性化させる。そこに、ある種の倫理性が宿る。

ぼくらは「これが正しいのだ！」とか、「こうしないとだめだ！」なんて真顔で正論を言われても、それを素直に受け入れることができない。でも、X、誰もがなにかしなければ、という気持ちになる。バランスを回復したくなる。

震災後、冷たい雨のなか、がれきを拾い集める人たちの姿をテレビで見えて、快適な部屋でなにもしていない自分にY、を感じ、被災地に義援金を送った、という人もいるだろう。国会前でデモが続いているとき、若者が自分の言葉で政治について語る姿を見て、自分は何をやっているんだ、と反省を迫られた人もいるだろう(私です)。

こうして、倫理性は「うしろめたさ」を介して感染していく。目を背けていた現実への認識を揺さぶられることで、心と身体に刻まれていく公平さへの希求が、いろんな場所で次つぎと起動しはじめる。

(松村圭一郎 『うしろめたさの人類学』 ミシマ社)

問1 $a \cdot b \cdot c$ の意味として最も適当なものをそれぞれ選び記号で答えなさい。

a 「境遇」

ア ある人を取り巻く関係

イ ある人の持って生まれた才能

ウ ある人の持つ運勢

エ ある人の力の及ぶ範囲

b 「度外視」

ア 極めて重要だと考えること

イ かまわず問題にしないこと

ウ 大きにとらえること

エ 過小に評価すること

c 「一概に」

ア 個別的に

イ 対照的に

ウ 一般的に

エ 例外的に

問2 ——— ①「こうして偏りの因果関係や対象範囲が限定され、自分とは無関係なものにされる」とあるが、人は何のためにこのようにするのか。

問3 ——— ②「個々の必要性をみたく最適値を目指す」とあるが、どういうことか。

問4 ——— ③「贈与」について、次のア～エのうち、本文における贈与の例として正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

ア 子どもが相手と親しくなろうとしてダンゴムシをあげた。

イ 自分が苦手な数学を教えてもらう代わりに、友人の苦手な英語を教えてあげた。

ウ 鉛筆を使いきったという息子に頼まれて、新たに一箱買って帰った。

エ 日頃世話になっている祖父に、旅先の山で拾った木の实をお土産にした。

問5

④ 「避難所の近くに簡易コンビニが開設されると、被災者の方が喜んで買い物をしていた」とあるが、その理由として適当でないものを次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 供給する者との間に、商品の売買以外の余計な関係が生まれないから。
- イ 予算の限られた中で、自分の欲しいものを考えて選ぶことができるから。
- ウ お金を払って商品を購入することで、自分も他人の役に立つと思えるから。
- エ 支援助資は、状況が変化する中で実際のニーズにあわなないことが多いから。
- オ 贈られたものは、必ず受けとらなければならないと感じてしまうから。

問6

⑤ 「多様性」の対義語を次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 相対性
- イ 画一性
- ウ 普遍性
- エ 類似性

問7 ——— ⑥ 「再分配は、税などでいったん多くの人から徴収した財を特定の人や事業に振り分けることだ」とあるが、再分配の政治家

にとってのメリットと納税者にとってのメリットをそれぞれ述べなさい。

問8 本文には次の一続きの二文が抜けている。これを補うべき箇所を文中の空欄 の中から一つ選び記号で答えなさい。

でも、**国が支給した支援金だと、気軽に使ってしまう。最初にお金を出した人の存在がみえないからだ。**

問9 ⑦ 「電車内での『公平さ』はどうか確保できるのか」とあるが、これについてまとめた次の表の空欄「、ロにあてはまるように、

国家の対応と市場の対応それぞれの課題点を述べなさい。

国家の対応	
例 優先バス	
課題点	「
市場の対応	
例 高い料金設定のチケット	
課題点	ロ

問10 空欄「A」「D」にあてはまる言葉としてそれぞれ最も適当なものを次の中から一つずつ選び記号で答えなさい。同じ記号を二度以上用いてはならない。

- ア まず イ では ウ たとえ エ でも オ そして

問11 空欄 X にあてはまるものとして最も適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 相手が誠意を持って正論を突きつけてくると
- イ 目の前で圧倒的な格差や不均衡を見せつけられると
- ウ 目の前の現実には満足することができると
- エ うまくいかないのは制度の不備だと主張されると
- オ 世間の人々の信頼を集めている人物から言われると

問12 空欄 Y にあてはまる言葉を本文から六字で書き抜きなさい。

問13 次のうち本文の内容として正しいものを一つ選び記号で答えなさい。

- ア 格差は当人の能力や努力によるものだから、受け入れなければならない。
- イ 被災地に物資を送る行為は送り手の自己満足に過ぎないため、すべきでない。
- ウ 市場での交換を活性化したとしても、経済格差をなくすことは難しい。
- エ 私達は交換や再分配を排し、贈与によって成り立つ社会を実現すべきだ。
- オ 不均衡の解消には、個人レベルでのコミュニケーションは役に立たない。

【次ページに続く】

問14 波線部「電車でお年寄りが立っていて、若者が座っていることがある」について次の問いに答えなさい。

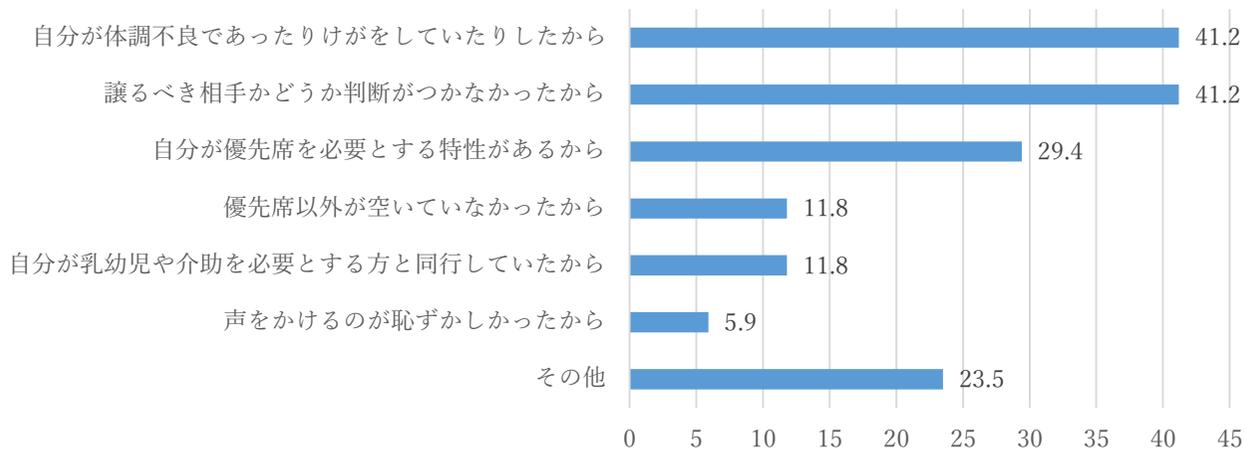
ある高校で「優先席を必要とする人がその優先席を利用しやすくするためにどうすればよいか」という話し合いが行われた。資料1はその時のメモである。資料1、2を参考に、必要とする人が優先席を利用しやすくするために、どのような人や団体と協力して、どのような取り組みを行うことが効果的だと考えられるか、理由とともに一五〇字から二〇〇字以内で具体的に答えなさい。なおその際、資料の数値を挙げながら説明すること。【二枚目の原稿用紙に解答すること。】

資料 I

優先席を必要とする人が優先席を利用しやすくするための取り組みの案

- ・ 交通事業者によるアナウンスなどの広報活動
- ・ メディア等での広報活動
- ・ 表示の明確化
- ・ 学校等での教育
- ・ 利用ルールの明確化
- ・ 罰則の導入

資料 II 優先席を譲らなかった時の理由（単位：％）



※国土交通省総合政策局「安心生活政策課国土交通行政インターネットモニターアンケート『心のバリアフリー』に関するアンケート」を元に作成。

三、次の――①～⑩の品詞名を、あとの語群からそれぞれ選んで記号で答えなさい。(同じ選択肢を使用してもよい)

①しかし市場では、誰もが②自分の必要に応じて意志決定し、欲求を充足できる。それぞれが限られた資金のなかで必要性の③高いものを④選択する。お金が有限だからこそ、人は自分の責任で⑤冷静に必要な度の優先順位を考えられる。贈与の⑥ように人間関係にわずらわされることもない。

市場での交換は、個々の微細なニーズの差異や多様性に対応できる。贈与は、人⑦と人を⑧つなぐ心温まる行為だが、⑨けっして万能ではない。市場での交換も、もとからある資金(交換財)の偏りは解消できない。⑩その「最適値」は、すでにある偏りを度外視することで達成される。

【語群】

ア	動詞	イ	形容詞	ウ	形容動詞	エ	名詞	オ	副詞
カ	連体詞	キ	感動詞	ク	接続詞	ケ	助動詞	コ	助詞

【以上】

受験 番号		名前	
----------	--	----	--

一

1 こうしん	2 ほかく	3 だんりやく	4 しょうじん
5 すい	6 あわてる	7 全幅	8 擁護

二

問 1	a	b	c	
問 2				
問 3				
問 4	ア	イ	ウ	エ
問 5				
問 6				
問 7	政治家			
問 7	納税者			
問 8				
問 9	I			
問 9	II			
問 10	A	B	C	D
問 11				
問 12				
問 13				
問 14	一枚目の原稿用紙に解答すること。			

三

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

受験 番号		名前	
----------	--	----	--

一

1 こうしん 更新	2 ほかく 捕獲	3 だんりやく 弾力	4 しょうてん 焦点
5 すい 粋	6 あわてる 慌てる	7 全幅 ぜんぷく	8 擁護 ようご

二

問 1	a ア	b イ	c ウ	
問 2	公平さのバランスを擬似的に回復するため。			
問 3	それぞれの人にとって価値のあるものを交換しあうことで、双方が満足を得られるようにしてゆくこと。			
問 4	ア ○	イ ×	ウ ×	エ ○
問 5				ウ
問 6				イ
問 7	政治家 国民の負担を自分の功績に変えられること。			
問 7	納税者 再分配が失敗しても、自分の責任ではないと考えられること。			
問 8	2			
問 9	I 必要性の審査や違反者の監視に膨大な手間やコストがかかる上、どのような人を優先すべきか決めるのは難しい。			
問 9	II お金がなければ、必要としていても我慢するしかない。			
問10	A エ	B イ	C ア	D オ
問11				イ
問12	う	し	ろ	め
問12			た	さ
問13				ウ
問14	二枚目の原稿用紙に解答すること。			

三

①	ク	②	エ	③	イ	④	ア	⑤	ウ	⑥	ケ	⑦	コ	⑧	ア	⑨	オ	⑩	カ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---